

かかわりの力を育む支援の在り方 ～幼小中連携、小1・中1プロブレムの観点から～

名城大学 曾山和彦

2007.8.2

小1プロブレム (2007.5.21 毎日新聞より)

- 授業中に歩き回る。ロッカーに物をしまえない。私語が絶えない。幼児のような小学1年生が増えてきている現象。

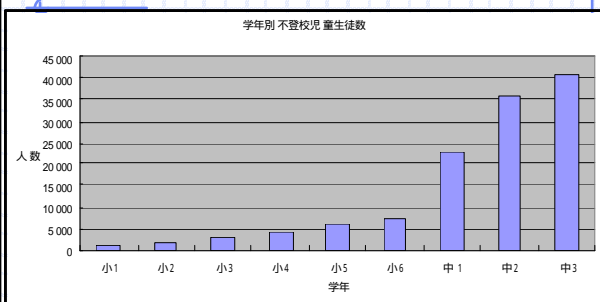
人とかかわる体験不足 (東京学芸大、小林教授)

<各自治体の取り組み>

ボランティアによる見守り、絵本読み聞かせ、入学一ヶ月後の学級再編成 (神奈川)

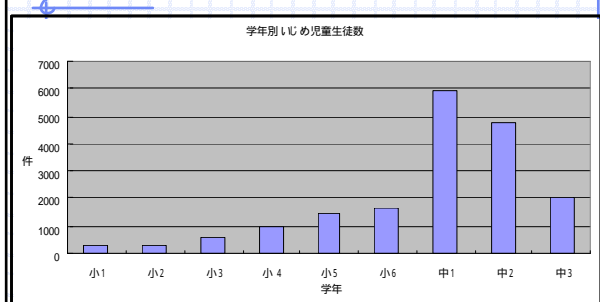
5歳児に「プレスタディ」として合同授業 (奈良)

中1プロブレム;不登校の激増



H17; 中学になると約3倍 (7483人 22566人)

中1プロブレム;いじめの激増



H17; 中学になると3倍以上 (1637件 5967件)

プロブレム予防の基本

学校・学級の温かな人間関係づくり

- 人とかかわり、つながることが、人を癒す
- 人とかかわり、つながることが、人を育てる

人は 人の中で 人になる

かかわりの力と学校・学級

かかわりの力 = ソーシャルスキル
人づきあいのコツ

かかわりの力は、かかわり体験の中でしか育むことはできない

かかわりの力を育むには「集団」が必要。現代において、集団が必然的に構成されるのは学校。そこに学校存在の一つの意味がある。

かかわりの力と集団

- かかわりの力があれば、認めあうようなかかわり、ホッとするようなかかわりができる。また、そうしたかかわり方ができる集団では、かかわりの力はより一層育まれる。
- 認めあえるのは「承認欲求」、ホッとできるのは「安全欲求」に応える集団ということである。

かかわりの力アップ



集団状態アップ
(承認、安全欲求に応える)

かかわりの力を育むために

面白くて、ためになる演習をいくつか紹介！

4人組(ホームグループ)づくり
演習1「君こそ、スターだ！」

ターゲットスキル:「主張スキル、受容・共感スキル」

演習2「ネームゲーム」

ターゲットスキル:「コミュニケーションスキル」

ホームグループ内で、お互いの名前を覚えましょう。トップから順に名前をつなげていきます。「さんの隣のです」とつなげます。最後まで行ったら全員で拍手をお願いします。もし、名前を思い出せなかったら、また教えてもらいましょう。2回目は「好きなもの」を加えてゲームを続けます。

演習3「質問ジャンケン」

ターゲットスキル:「主張スキル、コミュニケーションスキル」

「さんはどんな人だろう?」と、ホームグループ内のメンバーについて、少し気になってきたかもしれませんね。いろいろと聞きたいことはあっても急にはお互い恥ずかしいことでしょう。ジャンケンをして勝ったら、質問に答えてもらいましょう。意外な答えが聞けるかも。

かかわりの力を育む技法

～ソーシャルスキル・トレーニング(SST)～

してみせて 言って聞かせて させてみて
ほめてやらねば 人は動かじ (山本五十六)

インストラクション

モデリング

リハーサル

フィードバック

必要な「かかわりの力」(12スキル)

コミュニケーションスキル

- ・あいさつの仕方
- ・自己紹介の仕方
- ・上手な聴き方
- ・質問の仕方

受容・遊び参入スキル

- ・仲間の誘い方
- ・仲間への入り方

主張スキル

- ・優しい頼み方
- ・上手な断り方
- ・自分を大切に伝え方

受容・共感スキル

- ・温かい言葉のかけ方
- ・気持ちをわかっての働きかけ方

問題解決スキル

- ・トラブル解決策の考え方



学校・学級におけるSSTのポイント

人づきあいの楽しみ方を学ばせる

教え込む雰囲気ではなく

楽しくて仕方ない工夫

友だちと一緒に活動する喜び

承認欲求について

- 自分のことを認める、大事にすることのできない子どもが、周りの友だちを認めたり、大事にしたりできるはずがない。
- 様々な理由により、承認感のレベルが基準線を越えない子どもたちがいる。基準線を越えるように承認を注ぎ込むのは、担任であり、友だちである。(保護者ができない場合がある)

(例)「俺はゴキブリだ」と言った1年生のケース

承認欲求に応える

1. **いいところ探し**；「A君のいいところは だね。」
2. **リフレーミング**；「短所は飽きっぽいところ」「それは という長所でもあるよ」
3. **勇気づけ**；「ありがとう」、「うれしい」、「助かった」

失敗しても自尊心、所属感を失わない態度

子ども、保護者のセルフエスティームを高めることができる

演習4「いいところ四面鏡」

承認欲求に応える最高の演習
～エンカウンターを活用して～

1. シートに自分の名前、メンバーの名前を記入する
2. グループ内でシートを回す(交換する)
3. 自分の名前欄に、その人のいいところだと思う場所に 3個つける。
4. メンバー全員交換し、書き終えたら自分のシートを見る
5. どうしてその項目に をつけたのか、お互いに伝える

シート交換時の「お願いします」のスキルも大切に！

安全欲求について

- 安心・安全欲求は人間の低次欲求で不可欠。
- 生活ルール、かかわりルールを教えるために、寛容さゼロ教育(ゼロトレランス)もある。しかし、それは果たして教育なのか。
- 教育の目標の一つに「社会化」がある。様々なことをしつけていく必要があるが、大前提は「信頼関係」があるかどうか。

(例)叱っても、次にまた「先生！」と寄ってくる関係を。毅然とした態度、厳しさだけでは規範等は「内在化」しない。

安全欲求に応える

生活ルール、かかわりルールを教えるということ

- おしゃべりをやめよう ×
- 話をしっかり聞こう
- 友だちを馬鹿にするのはやめよう ×
- 友だちにうれしい言葉をかけよう
- いじめをなくそう ×
- 一人一人を大切にしよう

否定語



肯定語

腕の見せどころ；言語教示、モデリング、SST、目標掲示等

安全欲求対応例;授業中の私語

- ◆ アイメッセージ;君たちが話していると(事実の描写)、私は大切なことを伝えられないような気がして(受ける影響)、とってもイヤな気持ちになるんだ(感情)
- ◆ 質問;何か聞きたいことがあるのかな?
- ◆ 静かにルールの掲示を指さす

子どもたちが私語をやめたときに「ありがとう」

まとめ;幼小中の連携 ~共通の土俵を持つ~

- ◆ 学級診断尺度アンケートQ-Uの活用

共通の土俵をもつことで、学校を超えた事例検討会等も可能。例;「学級満足群」に7割以上の子どもがプロットされる学級づくりのための効果的支援について、「共有財産化」がしやすくなる。

市町村全体でのQ-U実施が増えている。

参考

アンケートQ-Uとは

- ◆ 河村(1994)により開発された診断尺度。
- ◆ 学級満足度尺度と学校生活意欲尺度、自由記述からなる。

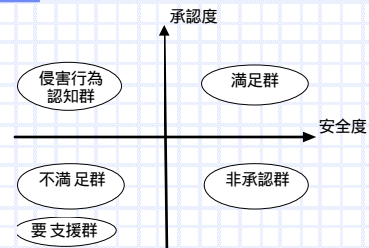
利点

1. 短時間でできる
2. 気になる子どもを事前に発見できる
3. データ理解に専門性を必要としない
4. 視覚化されている

教師が使える

参考

Q-Uの理論的背景



マズローの欲求階層説を理論的背景に置く

参考

ルールとリレーションのパターン分布

